

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

提出日

主治医:

病名: CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発胃癌

手術日

患者本人へ説明した内容:

プロトコル名: Zolbe+mFOLFOX6療法(ポート有)

開始日

次回予定日

ケール目

身長(cm)

体重(kg)

体表面積 (m²)

確認事項

☐ HER2陽性の患者には使用しないこと

☐ オランザピン5mgを使用する場合、1日目のピロイ投与前と1～4日目の夕食後の処方を検討すること。(糖尿病の既往歴が無いことを確認)

◆ピロイ:最終濃度が2.0mg/mlとなるように調製

※ピロイ調剤・払い出し時は、ケール数に応じた個別のピロイ投与速度表をつけること(投与速度表:がん化学療法投与計画書フォルダ内)

	薬品名	プロトコル標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	DAY 3	DAY 4
							1月 0日	1月 1日	1月 2日	1月 3日
1	生食シリンジ10mL		1キット	点滴			○			
2	パロノセトロン 点滴静注バッグ(0.75mg)		1/バッグ	点滴	30分		○			
	デキサート(6.6mg)		1.5瓶	点滴			○			
	アロカリス点滴静注 (235mg)		1瓶	点滴			○			
	ボララミン(5mg)		1A	点滴			○			
3	生理食塩液		50mL	点滴	5分		○			
4	生理食塩液		初回500mL、 2回目以降250mL	点滴	ピロイ投与速度表 参照		○			
	注射用水		0mL	点滴			○			
	ピロイ(初回)	初回:800mg/m ² 2回目以降:400mg/m ²		点滴	1Vあたり注射用水 5mLで溶解	※2mg/mLになるよう 調製	○			
	ピロイ(2回目以降)			点滴			○			
5	生理食塩液		50mL	点滴	5分		○			
6	5%ブドウ糖注		250mL	側管	120分	7と同時に	○			
	レボホリナート	200mg/m ²		側管			○			
7	5%ブドウ糖注		250mL	点滴	120分	6と同時に	○			
	オキサリプラチン	85mg/m ²		点滴			○			
8	5%ブドウ糖注		100mL	点滴	10分	6.7終了時に	○			
	フルオロウラシル	400mg/m ²		点滴			○			
9	生理食塩液		50mL	点滴	15分	8終了時に	○			
10	生理食塩液		生食の量は薬剤室に て調節	点滴	46時間	9終了時に	○			
	フルオロウラシル	2400mg/m ²		点滴		Infusor Systemに充填	○			
11	生食シリンジ10mL		1キット	点滴			○			
12	デキサメタゾン		8mg	経口		day2～day4		○	○	○

標準投与量

ピロイ

初回

mg

2回目以降

mg

レボホリナート

mg

オキサリプラチン

mg

フルオロウラシル

mg

フルオロウラシル

mg

オキサリプラチン
総投与量チェック

mg

1サイクル: 14日
投与日: day1,day2

《注意事項》

1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします

2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。